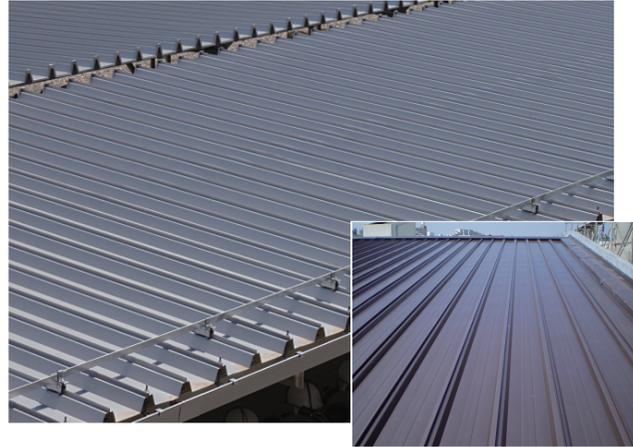
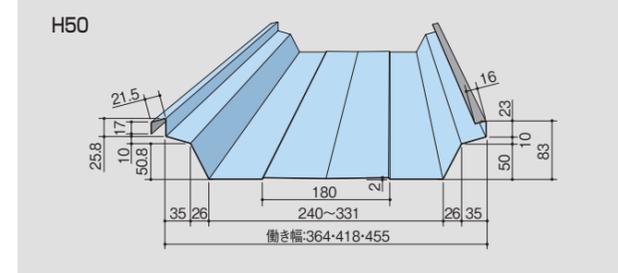


既設心木なし長尺瓦棒改修工法

- 特長**
- ①既設瓦棒をはがさず、直接重ね葺きが出来ます。
 - ②2曲ハゼにより漏水、すが漏りに安全です。
 - ③瓦棒の山ピッチに合わせた加工が可能。
- 用途**
店舗などの小規模な建築物から工場、倉庫、体育館などの屋根に最適。
- 使用材料**
- ・各種溶融亜鉛めっき鋼板
 - ・溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板
 - ・塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板
 - ・溶融55%アルミニウム2%マグネシウム-亜鉛合金めっき鋼板
 - ・塗装溶融55%アルミニウム2%マグネシウム-亜鉛合金めっき鋼板



■本体主要寸法



■標準仕様

H50	
板厚	0.4~0.8mm
原板幅	519~610mm
働 き 幅	364・418・455mm
m ² 当り必要なm数	2.75~2.2m
勾 配	5/100以上
自然曲率半径	100m以上
最小曲げ半径	-
加工可能な長さ	min 1500mm max 12m 現場成形可

*板厚t=0.6mm以上のハゼ締めは1段のみ。
 ※上記以外の働 き幅は、別途お問合せください。

■断面性能 H50

(働 き幅455mmの場合)

板厚 (mm)	単位重量		断面性能			
	kg/m	kg/m ²	正 圧		負 圧	
			断面二次モーメント Ix (cm ⁴ /m)	断面係数 Zx (cm ³ /m)	断面二次モーメント Ix (cm ⁴ /m)	断面係数 Zx (cm ³ /m)
0.4	2.04	4.48	19.3	7.30	6.72	1.58
0.5	2.52	5.54	26.9	9.70	9.72	2.71
0.6	3.00	6.59	32.8	11.3	12.5	3.76
0.8	3.95	8.68	54.6	20.4	16.1	5.06

(断面性能は、JIS A 6514に準拠した曲げ耐力試験による)

■接合部強度 H50

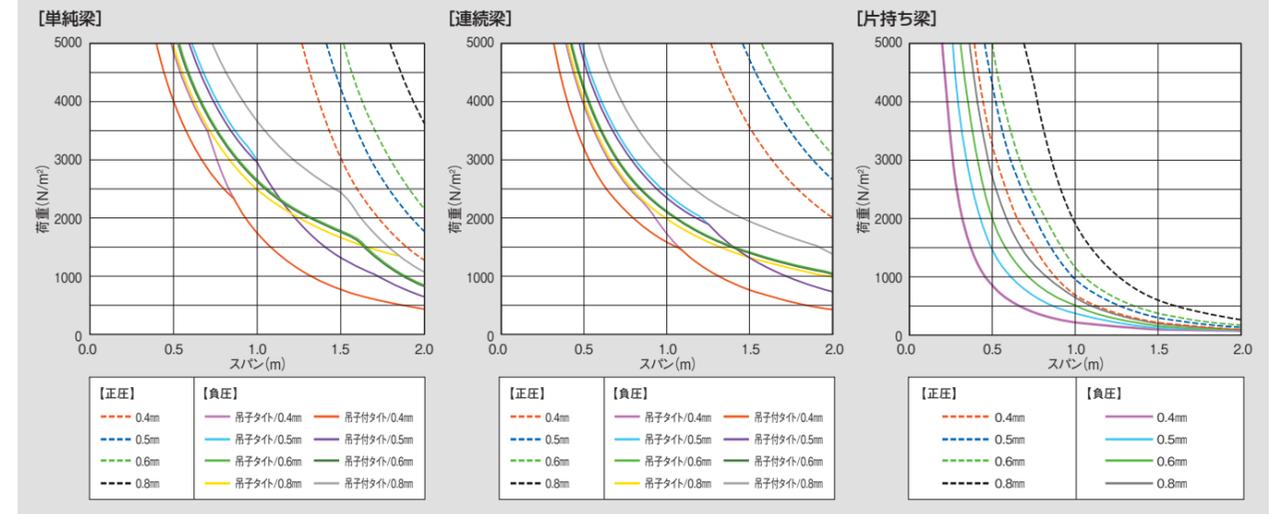
単位:N

板厚 (mm)	吊子付タイトフレーム[亜鉛めっき/t=0.8]	吊子タイト[亜鉛めっき]
	TS (1.6)	TS (0.8)
0.4	1812	2235
0.5	2692	2578
0.6	2387	2383
0.8	3320	2262

※()内はタイトフレームの寸法 (SSR2007に準拠した複合試験による)

■許容スパングラフ H50

⚠ 建告-平成12年1458号、1454号に定める風圧力が不明な場合は最寄の営業担当までご相談ください。



標準付属部品 H50

